

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646

選手の活躍に野球少年も興奮

四国アイランドリーグ plus の公式試合が5月4日に池田球場で開催され、1015人の地元ファンが熱い声援を送りました。試合前のセレモニーでは、地元少年野球チームの子どもたちも参加して、両監督への花束贈呈や始球式が行われました。高知ファイティングドッグスと対戦した徳島インディゴソックスは、惜しくも8対9で敗れましたが、手に汗握る展開に観客は大きな拍手を送っていました。また、豪華景品の当たる抽選会やサイン会もあり、大人も子どもも楽しめた一日となりました。



熱さ頂き火渡り 無病息災を祈る

5月18日、池田町西山の密厳寺で不動の火祭りが行われ、県内外から約400人が訪れました。

ホラ貝の音色の響く厳かな雰囲気の中、柴燈護摩が始まり、不動堂前の護摩壇に火がつけられると、辺り一面は白い煙で覆われ、大きな火柱となって燃え上がり、願い事が書かれた護摩木が次々と投げ入れられました。火が鎮ると焼けた護摩木の残り火の上を歩く「火渡り」が行われ、参拝者は無病息災や家内安全を祈り、裸足で渡っていきました。火渡りを終えた後には、福引きや餅投げがあり、多くの参拝者で賑わいました。



大歩危の激流に巧みなボートさばき

第7回大歩危リバーフェスティバルが5月24日と25日にウェストウェストで開催されました。最終日の25日には、24日に引き続いてラフティングの大会があり、「クロスレース」と「スプリントレース」が行われました。

クロスレースでは、約400メートルの短距離を複数船でスタートし規定のゲートを通り抜けてタイムを競い合います。他のレースとは違い、ラフティングボートの激しいぶつかり合いがあり、迫力のあるレースに観戦者も大いに盛り上がりました。



サイクリストにし阿波を駆け巡る

「第5回自転車王国とくしまツール・ド・にし阿波2014」が5月25日に開催され、県内外から集まったサイクリスト1011人が参加しました。吉野川運動公園からスタートする5つのコースには、今回より剣山国定公園指定50周年を記念して、祖谷、大歩危コースで最長の166キロコースが展開されました。

大会前から地元のボランティアの方々により、路面の補修や清掃がされていたこともあり、参加者は気持ちよくにし阿波の美しい景観を駆け巡りました。



笑顔でつながる 博愛まつり



「笑顔でつながる地域の輪」をテーマに、池田博愛会などが主催している第35回博愛まつりが、5月25日に箸蔵近隣公園周辺で開催されました。

開会宣言とともに約1000個の風船が放たれた後には、箸蔵小学校鼓笛隊による演奏や池田博愛会のマスコットキャラクター「ハットくん」のテーマソングなどが披露されました。

また、キックターゲットなどのアトラクションや児童書画展、各種バザーの出店などもあり、会場は多くの家族連れらで賑わいました。

市内5地区で戦没者追悼式



平成26年度の戦没者追悼式が、市内各地区（三野地区5月16日、西祖谷地区21日、池田地区22日、井川地区23日、東祖谷地区29日）で行われ、遺族らが戦没者の冥福を祈るとともに平和への願いをこめて祭壇に白い菊の花を献花しました。井川ふるさと交流センターで行われた追悼式では、遺族ら約80人が参列し、来賓らの追悼の言葉のあと、井川中3年の野住兵悟君が「戦争の悲惨さを学び、命の尊さを語り継いでいきます」と作文を朗読し、平和への誓いを新たにしました。

新緑の祖谷溪谷をウォーク



5月18日、第10回大歩危祖谷温泉郷癒しの健康ウォークがあり、市内外から親子連れなど83名がミシュラングリーンガイドで2つ星に輝いた祖谷溪谷を堪能しました。コースは、池田町大利京田から祖谷ふれあい公園までの18キロ。参加者はそれぞれのペースで歩きながらさわやかな汗を流しました。また、コースの途中には田舎鍋がふるまわれました。ゴール後は大歩危祖谷温泉郷の温泉に入り、ウォーキングの疲れを癒しました。



あめごのつかみ取りに歓声

5月4日と5日、西祖谷山村の祖谷川で第29回西祖谷あめご釣り大会が開催されました。

実行委員会は大会前にアメゴとマス約1万5千匹を放流。午前8時の開始の合図とともに約120人の参加者が、次々と清流の女王アメゴを釣り上げ、溪流釣りを楽しみました。また、4日の午後2時から、小学生以下を対象にアメゴとマスのつかみ取り大会もあり、約100名の子どもたちは水しぶきを上げながら、素早く泳ぐ魚を懸命に追いかけていました。